

中部森林管理局 分収林評価委員会
令和7年度議事録

1 日 時 令和7年12月12日（金）13時50分～15時20分

2 開催場所 中部森林管理局2階 局長応接室

3 委 員 中島 義雄 委員長（技術士（森林部門））
織 英子 委 員（弁護士）
西入 将光 委 員（不動産鑑定士）

事務局 森林整備課長、監査官、企画官、分収林係長

4 議事概要

中部森林管理局から分収林（分収育林、分収造林）それぞれの制度の概要、国による持分の買受価格の算定方法等について説明後、各議案の審議を行い、提示した買受価格については承認されました。

委員会では出された主な意見は次のとおりです。

○審議（1）分収育林買受予定箇所について

委 員：今年度落札額の一口当たりの全国平均額と中部森林管理局管内はどうか。

事務局：今年度落札額の一口当たりの全国平均額は約330,000円となっており、中部森林管理局管内は、令和7年11月末時点で8件の落札物件があり、一口当たりの平均額は約220,000円となっている。

委 員：令和6年度対象物件の買受実績はどのような状況なのか。

事務局：令和6年度の買受実績は、買受希望口数99口に対して85口で約86%、契約者数では84名に対し70名となり、買受希望者の83%が金額に同意していただいた状況となっている。

○審議（2）分収造林買受予定箇所について

委 員：令和7年度の中部森林管理局の分収造林契約はどのような状況なのか。

事務局：令和7年度に契約満期を迎えるものが15件、119haあり、11月末現在で13件、106haの立木公売を実施しており、9件、78haが落札に至っている。